

平成29年度 関東高等学校女子バスケットボール大会
兼 第71回 関東高等学校女子バスケットボール選手権大会

ALL Kanto Girls 2017 in Funabashi



(Bブロック)決勝

試合日: 2017/06/11
開始時刻: 13:30~
会場: 船橋市総合体育館
コート: Mコート
試合順: 第3試合(Bブロック)決勝

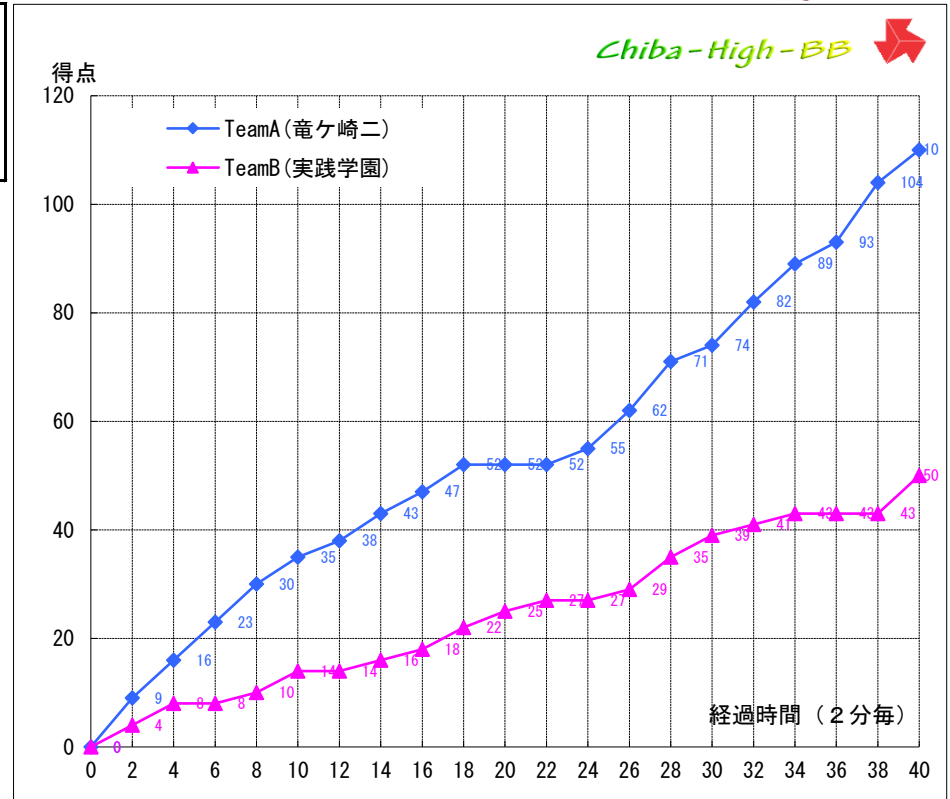
Team A		Team B												
竜ヶ崎二	110	実践学園												
(茨城2位)	<table border="1"> <tr><td>35</td><td>-</td><td>14</td></tr> <tr><td>17</td><td>-</td><td>11</td></tr> <tr><td>22</td><td>-</td><td>14</td></tr> <tr><td>36</td><td>-</td><td>11</td></tr> </table>	35	-	14	17	-	11	22	-	14	36	-	11	50
35	-	14												
17	-	11												
22	-	14												
36	-	11												
		(東京8位)												

TeamA (竜ヶ崎二)

No.	PT	選手名	得点	3分以内			反則	リバウンド*			アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
				成	成	成		off	def	計			
4	◎	倉持 彩弥	13	0	5	3	2	0	0	0	0	1	1
5	○	根本 笙子	12	2	3	0	3	0	0	0	4	0	2
6	○	秋本 花菜	6	0	1	4	1	0	1	1	0	0	1
7	◎	関根 楓	7	0	3	1	2	1	0	1	1	1	1
8	◎	長谷川 未佳	8	0	1	6	1	1	3	4	1	0	1
9	○	秋本 玲朱	11	0	5	1	0	3	2	5	0	0	2
10	○	伊藤 萌音	2	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0
11	◎	板垣 哉也子	9	0	3	3	2	0	3	3	1	1	2
12	◎	山田 楓	12	0	5	2	4	1	1	2	0	1	0
13	○	小泉 雛	19	3	4	2	1	0	2	2	0	0	1
14	○	市川 水晶	3	0	1	1	3	0	1	1	0	0	1
15	○	木澤 菜	2	0	0	2	2	1	0	1	1	0	0
16	○	古森 瑞季	0	0	0	0	1	2	0	2	0	0	0
17	○	八田 千裕	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
18	○	本間 胡桃	4	0	1	2	1	1	0	1	0	0	0
Team / Coach:							0	2	2	4			1
合計			110	5	34	27	24	12	16	28	9	4	13

TeamB (実践学園)

No.	PT	選手名	得点	3分以内			反則	リバウンド*			アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
				成	成	成		off	def	計			
4	◎	尾上 比那	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
5	◎	妙中 理映佳	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
6	◎	田中 萌々子	2	0	1	0	1	0	1	1	0	2	3
7	◎	前山 沙紀	2	0	1	0	1	1	0	1	0	0	2
8	○	吉原 美樹	0	0	0	0	0	1	2	3	0	0	2
9	◎	新井 萌衣	4	0	2	0	1	1	0	1	0	1	0
10	○	神宮 杏樹	4	0	1	2	5	1	4	5	2	0	13
11	-	稲葉 美稀	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	○	坂入 彩水	6	0	2	2	4	1	3	4	1	0	8
13	○	佐藤 歩	6	0	3	0	4	4	2	6	0	1	2
14	○	三木 香帆里	8	0	3	2	0	1	0	1	1	1	0
15	○	池田 和奏	11	0	5	1	4	3	3	6	0	3	5
16	○	志村 美里	2	0	1	0	2	1	1	2	0	0	3
17	○	兼島 邑果	3	0	0	3	4	3	1	4	0	0	6
18	○	阿部 千紘	0	0	0	0	1	0	3	3	1	0	3
Team / Coach:							0	0	7	7			3
合計			50	0	20	10	28	17	27	44	5	8	50



	前半(1・2クォーター)	後半(3・4クォーター)	延1	延2	延3	延4
TeamA						
TeamB	4:33	18:28 25:29 31:34				

【戦評】

第1P、竜ヶ崎二オールコートゾーンプレス、実践学園ハーフコートマンツーマンで試合開始。竜ヶ崎二の激しいディフェンスに阻まれ、実践学園はベースを掴むことができない。竜ヶ崎二は全員が足を動かしてスティールから速攻を連発。さらに#4倉持、#5根本のキレのあるドライブから得点を伸ばす。第2P、実践学園はオールコートマンツーマンでドライブに対してのカバーを速くし相手を封じようとする。それでも竜ヶ崎二の勢いは止まらず、ドライブからのアシストが冴え相手に付け入るすきを与えない。実践学園は#10神宮のスピードのあるドライブを中心に食らいつきたいが、52対25竜ヶ崎二の大量リードで後半へ。第3P、実践学園は#15池田のドライブインで先行し、その後もシュートチャンスが多く作るが肝心のシュートが決まらず流れをものにできない。竜ヶ崎二はターンオーバーが増えるもルーズボールをこごとく拾いリズムを崩さない。第4P、追いつきたい実践学園は、リバウンドから活路を見出そうとするが点差は縮まらない。竜ヶ崎二は最後まで攻撃の手を緩めず110対50で試合終了。竜ヶ崎二の運動量が実践学園を圧倒し優勝を決めた。

審判 久保 知仁 / 三好 啓太 / 久保 あしみ

記入者 鈴木実花・飯田帆香